

二万：あはは。それもインパクト勝負？
園長：そうですね。
二万：幼妻閉じ込め装置って、名前のわりに身体ガッチリしてる感じしません(笑)？
園長：あはは。そうですね。まあ活発な子ですね。ウチで一番マトモなんですけどね。今回出たCDも彼が先陣切って色々やってくれたんで。
二万：そうなんだ。
園長：僕は実はあんまり関わってないんですよ(笑)。歌入れと、文字とかちょっと考えただけなんで。
二万：ジャケは？
園長：ああ、ジャケは僕が描きました。CDの中はドラムの閉じ込め君の知り合いのデザイナーの子がやってくれたんですよ。
二万：へー。
園長：写真もちゃんとした人に撮ってもらったんですよ。ヴィジュアル系のカメラマンの子。ずっとライブに来てるんですよ。
二万：あー見たことあるよ、その子。
園長：僕はヴィジュアル系はさんざん嫌いだって言ってるんですけどね(笑)。
二万：そうかあ(笑)。でも、今のヴィジュアルしか知らない若い子からすると、組織暴力幼稚園は屈折してるし、凄く新鮮に映るのかもね。昔のヴィジュアル系って凄かったもんね。まだヴィジュアルって言葉がそんなになかった頃。
園長：そうっすねー。まあ、ちょっと昔っぽく映るのかもしれないですね。でも僕はヴィジュアル系って言われるのは嫌だし、比較されるのも嫌なんですよ。
二万：でも、どうしたってそっちに行っちゃう時もあるでしょ？
園長：そうなんです。見かけでしか判断しないで、そっち行っちゃうんですよ。内面的なものは正反対なんですけどね。
二万：で、まあCDを聴かせて頂いたんですけど。
園長：はい。
二万：作詞は全て園長なんですよ。
園長：それはもう譲れない部分ですね。もう絶対に。
二万：で、曲名や歌詞。凄く独特なものだと思うんですけど。
園長：そうですねー。でも特にコンセプトとかないんですけど…
二万：ないの！？
園長：ないですよ。でもまあ歌詞一個一個には意味はありますよ。
二万：あー。
園長：絶対こうでなくちゃダメってのはないですけど、ただ、歌詞に関してはやら考えますね。
二万：全体を通して伝えたい事みたいなのはないの？
園長：何だろう…なんていうか、反逆心みたいな。そんなものですね。人間の裏の心を抉り出す…みたいな。完全ネガティブな方向からですね。それはもうちゃんと考えてやってますよ。そんなバカじゃないんで。
二万：うん。
園長：僕は、そんなバカじゃないですよ。狂ってるって言われるけど、僕は全然狂ってない。マトモですよ。
二万：ほう。
園長：さっきも言ったけど、歌詞も一個一個ちゃんと考えてやってるから。適当な歌詞書いて、適当に暴れてる連中とは違う。その辺はいつも言ってますけどね。
二万：なるほど。
園長：でも前はクスリとかやってたんで…
二万：え？ほんと？
園長：だから昔は全然バンドのスタイルとかも今と違うじゃないですか？
二万：そうだね、違ったね。
園長：ラリってましたよ(笑)。
二万：一同爆笑
園長：ライブやる前楽屋にいる記憶はあるけど、次の時にはもう終わってるとか。スタジオ帰り、クスリが抜けてなくて車で帰って事故りそうになったりとか(笑)。ちょうどガードレール切れてるところで、人知れず神奈川の山奥で焦った。危なかったですね。
二万：スタジオでもしてたの？
園長：スタジオだからテンション上げなきゃ！って(笑)。だからそういうタイプの人間だったんですよ。でも今はもう正反対の人間ですけどね。
二万：そういうのから脱却したキッカケとかあるんですか？
園長：だから元々、精神的なところから言うと、僕は精神科とかに行ってて。カウンセリングも2年くらいやってて。抗鬱剤などを飲んでても、カウンセリングやってても、結局何にも治らないんですよ。カウンセリングやってても僕はこういう人間だから、(医者と)話しても全然伝わらないんですよ。
二万：へー。
園長：だからそういう風にクスリとか飲んでてもしょうがないなって。逆から自分



に攻めりゃいいんじゃないのかなって思ったんですよ。

二万：逆療法みたいなもんか。

園長：自分に何も進歩がないから、これはちょっとこのままやってもしょうがないかなって。だから時々そういう事をフライヤーとかにも書いてるけど…今はライブやる前は、酒も飲まないです。終わった後は飲むけど…。あとは、以前の自分のライブスタイルで、客の笑いを取ったり、盛り上げたりしてたんですけど、それやるのって、まあこう言うアレなんですけど、簡単なんです。笑い取ったりするとか、盛り上げたりするのって簡単なんです。だから、それは簡単だから、誰でも出来るものじゃないのかなって思ったんですよ。それで、じゃあ逆やるのかなって。それでだんだんストイックな形になってきましたね。

二万：なるほどね。色々紆余曲折あったわけだ。

園長：ありますね。でも最終的に自分がやりたい事って、今やってるような感じじゃないかなって思います。

二万：バンドに自分の精神状態が見事に反映するんだね(笑)。

園長：あーそうですね。もう憂さ晴らしだけです。バンドやってんのは、暇つぶしと憂さ晴らしだけなんで。

二万：最初見た時は、筋肉少女隊…ナゴムの匂いがしてね。それを髣髴させる感じだったよね。

園長：どうしても、バンドやるキッカケっていうのが大槻ケンヂから入ったんで。そこから筋少とかナゴムとかをかきつけて。まあ、殺害塩化ビニールとか、スターリンとか町田町蔵とか…大槻ケンヂひとり知ると、その辺がパーって一気に広がるんだ。あの人の本とか読んでると、ほんとに広がるんで。それでその辺の世界に一気に入った感じですね。

二万：なるほどねー。きっかけは大槻ケンヂだったわけだ。

園長：一番のおもとはそうですね。それはよく言ってますね。

二万：それでプロレタリアート本間さんとかと知り合ってCDのプログラミングもやってもらってるんだね。

園長：そうですね。QP-CRAZYの。今は動力鉄パイプやってますけど。

二万：じゃあバンド的にも狙った方向に順調に進んでいるわけだ。

園長：うーん、まあでも、色々な食い違いはありますけどね。ただ、僕はバックのメンバーとは全然違うと思ってんで、自分は。例えばドラムの閉じ込め君が色々動いてくれますけど、彼はもうガチガチの音楽屋なんで。僕の精神論とか色々言ってるのを嫌がってると思いますよ。

二万：そうなんだ。じゃあそういうのを理解しあった上でのバンド活動なんだ？

園長：まあ、どうなんですかね。色々ありますけど。けっこうきわどいラインなんじゃないですかね。

二万：あーそうなんだ。

園長：まあ、でもみんな熱心にバンドやってくれてますよ。

二万：園長がリーダーで、全部ひとりで仕切ってやってるバンドだと思われがちですか？

園長：いや、それはないです。時々僕一人のバンドだ、なんて言われるんですけどそれはないです。ワンマンバンドって気はしないです。実際問題、4人でやってるわけだから、それだけで僕一人のバンドじゃないっていうのは分かると思いますけど。あと僕、楽器出来ないし。

二万：そうなんだ。じゃあ作曲はどうやってるの？

園長：いや、単純にギターは、押さえて動かすと音が変わるから、それで適当に作ってやってるだけです(笑)。あと僕はドラムの打ち込みも出来ますよ(笑)。その分、曲構成とかには凄く気を使ってますけど。

二万：じゃあ曲の話をすると、ジャンルだけでいうと色んな事をやってると思うんですけどね。

園長：そうですね(笑)。

二万：歌詞が一貫してるから、全体として統一感があるのかなあ…。

園長：うーん、まあ僕、曲のジャンルとかどうこう気にしたりはしないんですけどね。目指してるジャンルもないし、むしろジャンルとかに分けられたくないです。バンドメンバーがもう好きなジャンルがバラバラだから、作ってる曲もバラバラだし。僕はスターリンみたいなのも好きだし、あとドゥーム/ストナー系も聴くし、ベースの子はヴィジュアルとかメタルが好きで、ドラムはポジパン。ギターはメタリカとかが好きみたいです(笑)。

二万：メタリカか！いいねー！

園長：そうなんです(笑)。だから皆全然違うんですよ。まあ、よく分からないですよ(笑)。僕はアングラから入った人間なんで。で、曲とか作ってきても、けっこう皆で練習しながら変えたりとか凄く多いですね。全然変わっちゃったりとかありますよ。そして、大体作曲先行で、歌詞が後ですね。僕は音楽の事は正直よく分からないんで。だから、今までも「バンドをやってる」とは言うけど、「音楽やってる」とは一言も言った事はないんですよ。

